

ここは私たちが想像する「学校」とはちよつと違う

自由をめぐる、大人と子どもの葛藤と冒険のドキュメンタリー

# 生活のなかから“生きる”を学ぶ

鳥取県智頭町にある新田サドベリースクール。  
授業は行われておらず、子どもたちは朝からゲームや屋根登りに夢中だ。  
子どもの“やりたい”を一番に尊重するこの学び舎では、ルール作りから全体運営まで、  
すべて子どもたちが携わり、自分で考え判断し、解決する力を身につけていけるよう運営されている。  
学年分けもなく、サポート役の大人も「先生」ではなく、子どもたちによって選ばれる「スタッフ」と呼び、  
「今日1日、何をやるのかしないのか」すべて子ども自身が決めていく。



## 新田サドベリースクールとは？

子どもの自主性を尊重した自由教育を実践する米国マサチューセッツ州のサドベリー・バレー・スクールをモデルに、地域の子育て中の親たちが中心となって2014年に開校したオルタナティブスクール。「民主主義の学校（デモクラティック・スクール）」でもあり、大人も子どもも対等に話し合う場作りをモットーに運営されている。国の認可校ではないものの、スクールの理念に惹かれた子どもから不登校だった子どもまで様々な生徒が在籍している。

※2021年現在、サドベリースクールは世界に約60校、日本では新田サドベリーが加盟する〈デモクラティックスクールネットワーク〉加盟9校のほか、部分的な取り入れ校も含め各地で様々な取り組みが行われている。

…だけど、自由とは何だろう？最初は楽しかったけれど、何もしなければただ退屈な時間だけが過ぎていく。子どもとスクールを信じつつも、時に一抹の不安を拭えない保護者たち。“黙って見守る”と“サポートする”の狭間で葛藤が絶えないスタッフたち。それでも大人は子どもたちの背中をそっと後押しする。  
「なんでもやってみたらいいよ」「みんなで話しあってみたら」  
根気のいる米作り、初めての喫茶店運営、私立中学受験への挑戦、そして、それぞれの思いが交差するスタッフ選挙——悪戦苦闘しながらもひとつひとつ取り組んでいく。…案外、自由って難しい？  
「勉強もせず遊んどるがな。大丈夫かいな」近隣住民からの訝しげな視線もなんのその。豊かな自然の四季に囲まれて、歩き始めて間もない学校作りに奮闘する、大人と子どもの悲喜こもごもの一年を、長年テレビ業界で多くのドキュメンタリーを手がけてきた浅田さかえ（劇場公開初監督）が追いかけた。



監督・撮影・編集：浅田さかえ プロデューサー：日笠昭彦、西村陽一郎 音楽：原摩利彦 ナレーション：玉川砂記子  
配給：グループ現代 製作著作：SAKAE ASADA 2021年 | 108分 | 日本 | カラー | ドキュメンタリー | DCP

<https://yane-ue.com> @yanekaze @yanekaze



チャイルドヘルプライン MIE チャリティー映画会

2025年 2月2日（日） ジェフリーすすか ホール

① 10:30～ ② 13:30～ （上映時間 108分）（開場は 30 分前）

①のみ未就学児入場可（座席が必要な場合は有料となります）

参加費 大人 1200 円 ・ 子ども 800 円（小学 1 年生～18 歳まで）  
（当日大人 1,500 円・18 歳まで 1,000 円）

主催（特）こどもサポート鈴鹿 鈴鹿市桜島町 6 丁目 20-3

問い合わせ TEL 059-383-1322（月曜日～金曜日 9:30～15:00 年末年始、祝日休み）